

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月24日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0170201883 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 パートナー | | |
| 事業所名 | グループホーム ハートの家 | | |
| 所在地 | 札幌市東区北11条東3丁目1-10 (電話) 011-748-8223 | | |
| 評価機関名 | (有)ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年12月20日 | 評価確定日 | 平成20年1月18日 |

【情報提供票より】(平成19年11月30日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|--------------|------------|------------|
| 開設年月日 | 平成 16年 5月 1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 17人 |
| 職員数 | 17人 | 常勤17人, 非常勤 | 人, 常勤換算17人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 鉄骨 | 造り |
| | 3階建ての | 1~3階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-------------|-------------------|-----------|
| 家賃(平均月額) | 37,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000 円 |
| 敷金 | ○有(60,000円) | 暖房費11~3月 4,000円/月 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有()円 ○無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 450 円 |
| | 夕食 | 413 円 | おやつ 105 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4) 利用者の概要(11月30日現在)

| | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 利用者人数 | 17名 | 男性 2名 | 女性 15名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 9名 |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 4名 |
| 要介護5 | | 要支援2 | |
| 年齢 | 平均 80歳 | 最低 72歳 | 最高 92歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人社団カレスクライアンス天使病院、宮本歯科 |
|---------|--------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ハートの家は、開設以来数年を経過し、明解な理念のもと、管理者を中心に着実に良質のサービスの提供に取り組んできている。交通の利便性が高く、病院や商店、公園にも隣接し、ホーム内は元社員寮を機能的に改築し、エレベーターや車椅子対応トイレなどが設置されている。医療面も充実し、また職員も勉強熱心である。その人の意思を大切にし、生きる意欲を持って暮らせるよう利用者一人ひとりの理解に取り組み、小型犬や熱帯魚が飼育され、野菜作りや社交ダンスを楽しみながらの身体機能維持に繋げている。果物狩りや泊温泉旅行など外出の機会も多い。近隣住民との支え合いの関係も深まりをみせている。利用者は率直な自己主張をしながら自由で安心感ある暮らしを継続しており、「大家族」を伺わせるホームである。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題である共有部と居室などの温度差については温度計を設置し、適切な温度管理を実施している。職員のストレス解消策に対してはスタッフルームの確保、親睦会、希望者のための法人内スポーツの場の提供など、事業所として、また職員間での検討を行ない、改善に繋げてきている。 |
| | 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 評価の意義を理解しながら、全職員が日頃のケアサービスを振り返り、検討をしている。さらにガイドブックを参考により質の高いサービスの実践に自己評価を活かす取組みを行なっている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は第2回目を終了し、今後の定期的な開催に向けて基礎作りが行なわれてきている。ホームの実情の説明のほか、地域との関係について、出席の包括支援センター職員や地域、ボランティア代表、また利用者、家族などから意見やアイデアをもらい、運営に活かす取組みを行なっている。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の訪問時には、利用者の日頃の生活や体調などを伝えながら、ホームとしてのあり様の話し合いをして、家族の思いや要望などを伺う丁寧な係わりを行なっている。表出された意見なども速やかに対応し、ホームの運営に反映させている。 |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣住民とは散歩時の挨拶から始まり、おすそ分けや家人への介助、相談事、またホームの不在時の見回りや避難訓練時の避難場所の提供と双方の支え合いが徐々に深まってきている。町内会に加入し地域行事にも参加しているが、今後はさらに交流の幅を広げ、より地域に密着したホームを期待したい。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホーム独自の理念を作り上げ、利用者、家族などにも解りやすく「家訓」としてホームの見やすい場所に掲示されており、日常介護の実践に繋げているが、地域密着型サービスとしての理念の見直しは行なわれていない。 | ○ | 開設以来、近隣住民との関係作りに地道な努力を重ねてきているが、さらにグループホームにおける地域密着型サービスの意義を全職員で確認し、理念の中に盛り込むなどの見直しを期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は、全体会議、ユニット会議の中で、日々のケアサービスについて理念に結び付けての検討を行ない、その実践に取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入し、地域の夏祭りや消防訓練に参加している。近隣住民とは、散歩時の挨拶から始まり、おすそ分けや家人への介助、またホーム不在時の見回りや避難訓練時の避難場所を提供して頂くなど双方向の交流が少しずつ深まってきている。 | ○ | 今後、さらに近隣住民とのお付き合いの幅を広げ、地域町内会の行事、会合への参加やホーム行事の招待などで、地域の一員として積極的な交流が望まれる。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義、目的を理解しており、前回の評価結果についてはミーティングで検討し、その改善に取り組んできている。今回の自己評価に対しては全職員で共有、話し合いが行なわれ、ホーム全体でまとめ上げている。 | | |

札幌市東区 グループホーム ハートの家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、包括センター長、地域の代表、ボランティア、利用者、家族の代表、ホーム関係者をメンバーとして、ホームの実情や地域との関係などをテーマに開催している。第2回目を終了し、今後の定期的開催に向けて基礎作りが行なわれてきている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 区の担当者とは、必要時に連絡を取りあっている。グループホーム管理者会議や連絡会に参加し、市町村との連携を図り、共にホームの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 月1回の金銭支払い時の訪問のほか、家族の面会は多くあり、その都度利用者の暮らしぶりや心身の状況を知らせている。また毎月発行のホーム便りには行事や新スタッフ紹介なども掲載し、定期的または個々の状況に合わせた報告を実施している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情窓口を明示し、玄関先には意見箱が設置されている。家族の面会の際には意見、要望などを話しやすいよう雰囲気や機会作りに配慮している。また出された意見、要望を記録に残し、ホーム運営に活かすなど、速やかな対応に取り組んでいる。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の交替には利用者に納得のいく説明を心がけている。法人内の移動の際には、時折ホームに顔を出してもらい関係性の継続など、その時々々の状況に合わせ、利用者への影響の軽減に努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者は、職員育成の重要性を認識し、また職員も質の向上への学びに熱心に取り組んでいる。法人内研修、外部研修などに積極的に参加し、その後のミーティング時に発表、職員間での共有が図られている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内のグループホームとの交流のほか、他の事業所との管理者交流の中から、職員間による相互のホーム訪問が実施予定にされており、共にケアサービスの質の向上を目指している。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 病院からの入居もあり、ホームから出向いて情報収集や本人との関係作りに配慮している。また家族と面接し、本人、家族がホーム見学に来てもらい、時間をかけて利用者自身が納得、安心できるようなサービスの利用開始に取り組んでいる。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は、利用者一人ひとりに関心を持ち、本人の理解に努めている。一方的な介護ではなく、本人のできること、得意なことをしてもらいながら、利用者から調理や掃除の仕方などを教えてもらうことも多く、共に暮らす者として、家族のような支え信頼し合う関係を築いてきている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員は、利用者が自由に率直な意見や思いを表出できる関係作りに日々努めている。一人ひとりの意向を大切に、また困難な場合もゆっくりと待ちながら対応の工夫を重ね、本人本位の検討を行なっている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 独自のアセスメントチャートにより、本人の全体像を把握し、職員間で共有している。本人や家族から意向の聞き取りを行ない、モニタリング、カンファレンスを実施して、利用者一人ひとりのための介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎日、介護計画に添ってのサービスチェックを実施している。それらを月一回のミーティングで検討し、家族など必要関係者と話し合いの上、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月と本人の状況に即した介護計画の見直しに取り組んでいる。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者、家族の状況や要望に応じて、通院の送迎など、その時々で柔軟な支援を行なっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 近隣に協力病院やかかりつけ医がおり、良好な関係を築いてきている。定期的受診のほか、緊急時また必要時におけるの往診など、利用者が安心して適切な医療を受けられるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | すでに医療機関の協力の下、関係者との密な連絡を取りながら、ターミナルケアを行ってきている。本人、家族には重度化におけるホームのあり方についての説明を行ってきているが、改めてホームとしての指針は作成されていない。 | ○ | ホームとしての対応の指針を作成し、ホーム全体で検討を行ない、本人、家族、医療機関など関係者全員での方針の共有に取り組むことを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報保護についての理解をしており、面会カード、個人記録などの管理の徹底化が図られている。また職員は利用者のプライドを傷つけない言葉掛けや対応を行なっている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員は、利用者一人ひとりの声に耳を傾け、その人自身の生活を大切に捉えている。食事や入浴、買い物など心身の状態を把握しながら、できるだけ本人が過ごしたい時間の使い方には添う支援をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員は利用者のできることや楽しみを見出し、自らの活動を見守りながら、一緒に食材の刻みや後片付けを行なっている。農園での収穫野菜も献立に取り入れ、食事の楽しみごとになっている。職員も同じ食事を取りながら、さりげない食事支援を行なっている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週2回の入浴日は決めてはいるが、利用者の希望やタイミング、身体状況により、柔軟に対応し、ゆっくりと入浴を楽しめる支援をしている。現在、夜間入浴の希望はなく、午後の時間帯で支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者それぞれの持てる力を十分に発揮できるよう、様々な場面設定を行ない、自主的に活動されている人も多い。また、利用者の生活歴を活かし、月4回ボランティアによる社交ダンスの日を設け、皆で楽しむ機会を提供している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 犬を連れての散歩や買い物、農園に出掛けるなど、天候と体調を見ながら戸外に出て、気分転換している。ホーム全員での年一回の一泊温泉旅行や果物狩りに出掛け、またよさこい、野球観戦などの個別の希望に合わせて支援も行なっている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は開放しており、夜間の時間帯（21時～6時）のみ施錠している。職員は利用者の動向を把握し様子を見守り、自由な出入りが可能であり、鍵を掛けないケアの実践を行なっている。 | | |

札幌市東区 グループホーム ハートの家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 町内会の消防訓練に参加している。ホームでは年2回消防署の協力を得て、夜間などの時間帯も想定しての消火、避難訓練を実施し、その後のミーティングでは具体的場面についての検討をしている。 | ○ | 今後、さらに運営推進会議を活かして、周辺住民からの災害時の協力を得られるような働きかけを期待したい。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分摂取量を把握、調理法の工夫をして一人ひとりの好みや身体状況に応じた食事を提供している。栄養バランス、カロリーに配慮ある献立が作成され、年数回、栄養士によるチェックを受けている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間には、小さな写真スペースや、植物、季節の花が飾られ、温かみある家庭的な雰囲気である。また椅子やテーブル、ソファが配置され、室温や光、音への配慮もされており、居心地の良い住まいになっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室には本人の使い慣れた馴染みの家具や装飾品、手作り品や仏壇が持ち込まれており、个性的でそれぞれが自分の居場所として安心して暮らせる場の工夫がされている。 | | |

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。